

セキュリティサービス

セコム独自の仕組みが高品質なオンライン・セキュリティシステムを支えています。

セコムでは、オンライン・セキュリティシステムのサービスを開始した1966年当初から「セキュリティ機器を売る」のではなく、「セキュリティというサービスを提供したい」と考えていました。そこで、お客様のところにセンサーなど各種セキュリティ機器を取り付け、通信回線を利用してお客様とセコムをつなぎ、24時間365日セコムのコントロールセンターが監視し、異常信号を受信すると、最寄りの緊急発進拠点から緊急対処員が駆けつけ、必要に応じて警察や消防に通報し、被害を最小限にとどめるといったセコム独自のオンライン・セキュリティシステムを構築しました。

セコムは、お客様の安全を守るセキュリティサービスは信頼できるサービスでなくてはならない、と考えています。また、地域や業種など、お客様によって異なる多種多様なセキュリティニーズにも適切に対応できなければなりません。さらに、サービス内容に見合った最適な価格も不可欠です。

セコムには、信頼できる高品質なセキュリティサービスを最適な価格でご提供するための独自の仕組みがあります。まず、セコムのセキュリティシステムは、レンタル方式を基本にしています。それにより、故障した場合でもセコムの判断で迅速に修理・交換などができるため、中断なく安定した高品質なセキュリティサービスを提供することができます。一方、お客様は、セキュリティ機器を購入する場合に比べて、初期の導入コストを抑えることができます。

次に、セコムは、セキュリティシステムの研究・開発から、製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、監視、緊急対処、メンテナンスまで、一貫して提供する体制が整っています。自社に研究開発部門を持つことで、お客様の声を反映させたシステムを、迅速かつ的確に開発することができますとともに、セキュリティシステムの改善や統廃合などにも柔軟に対応できます。また、お客様のところに設置したセキュリティ機器とコントロール

センター間の通信回線も、お客様の電話回線等だけではなく、「ココセコム」で使用している携帯電話網を利用するなど、経営資源を有効に活用した信頼性の高いネットワークを実現しています。研究・開発部門からメンテナンス部門までを含めた全部門が相互に連携し合うことにより、総合的な最適化を実現し、セキュリティシステムの信頼性の向上と徹底したコスト管理を可能にしています。

また、セコムには、さまざまなお客様のご要望に応える力があります。セコムは、安全のプロフェッショナルとして高度なスキルを身につけた緊急対処員を養成し、全国約2,200カ所にある緊急発進拠点から、緊急対処員が出勤できる体制を整えているため、全国に支店や店舗を展開するお客様にも、セコムが一括して対応することができます。また、より迅速な緊急対処が行えるように、事業所や緊急発進拠点の配置を常に見直し、お客様に最善のサービスを提供できるように努めています。さらに、緊急対処の際には、異常信号を受信したコントロールセンターの管制員が、(株)パスコのマップデータベースを活用し、即座に最も現場に近い緊急対処員に指示ができるため、緊急対処時間の短縮を実現するなど、セコムの総合力が活かされています。

さらに、セコムには、日々の入退館履歴をWEB等を通じてお客様に提供するサービスもあるため、全国に多数の支店・店舗を持つ企業が各支店の入退館状況を一括で把握するなど、残業管理などの労務管理にも役立っています。

このようなセコム独自の仕組みを構築することで、より高品質なセキュリティサービスを追求し、「信頼のブランドSECOM」として、お客様のニーズに幅広く応えられるように改善を続けています。



セコムの緊急対処員



事業所向けセキュリティサービス

豊富な経験とノウハウ、幅広いラインアップで、高品質のセキュリティサービスを提供し、お客様の期待に応えています。



「セコム AX」

セコム独自の画像技術で 多様化する犯罪に対応

ますます凶悪化・巧妙化・短時間化する最近の犯罪に対する防犯対策として、無人時の異常を画像で把握することで、正確かつ迅速な対応を可能にしたオンライン画像監視システム「セコム AX」が好評を得ています。

このシステムの最大の特徴は、セコムが独自に開発した画像認識技術を用いた画像センサーにあります。この画像センサーは、暗闇でも侵入者を感じ、異常信号とともに画像をセコムのコントロールセンターに送信します。これにより、コントロールセンターの管制員は、画像を見ながら状況を正確・迅速に把握して、いち早く適切に対応することができます。また、ご契約先に設置したスピーカーで、管制員が侵入者に警告をすることもできます。さらに、「フォギープロテクションシステム」を接続すれば、遠隔操作で人体やOA機器に影響がない白煙を噴射し、視界を遮断することで

犯行の続行を困難にすることも可能です。

また、「セコム IX」は、コンビニエンスストアなど24時間営業している有人店舗向けのオンライン画像監視システムとして、威力を発揮しています。このシステムは、店員が挙動不審者や迷惑行為をする来店者に不安を感じたときに、要請ボタンを押すと、コントロールセンターの管制員が店内の遠隔監視を始めると同時に、店内に設置してあるスピーカーで画像による監視中であることを店内の来店者に告知することで、犯罪を抑止することができます。強盗や暴力行為などの緊急事態が発生したときは、非常ボタンを押すと、コントロールセンターに非常信号を自動送信するので、管制員は画像と音声で即座に現場の状況を把握することができます。この「セコム IX」に防犯センサーや火災受信盤を接続すれば、営業時間外や定休日の防犯・防火対策を行うこともできます。

セコムの優れた画像技術は、監視カメラシス



セコム・コントロールセンター

テムも進化させています。高機能監視カメラシステム「HVRシステム」は、画像が高画質なので、人の顔や紙幣の種類まで特定でき、薄暗い場所や逆光でも見やすい画像を表示することもできます。また、カメラへのいたずらや妨害行為があった場合に異常を感知するセコム独自の画策防止機能を標準装備しています。

さらに、「HVRシステム」はデジタルカメラとアナログカメラの混在接続ができるため、すでにアナログカメラを導入されているお客様はアナログカメラおよびその周辺機器の全交換を行う必要がなく、周辺機器を活かしたまま必要な個所だけデジタルカメラへの変更および追加が可能であり、資産の有効活用を図りながら、監視セキュリティを強化することができます。情報漏えいや犯罪の抑止に効果がある監視カメラの需要は増加傾向が続いており、セコムは新規のお客様だけでなく、リニューアルや機能・品質向上を希望される既存のお客様にも、「HVRシステム」を積極的に提案しています。

豊富なシステムやノウハウを応用して 新たなシステムを開発

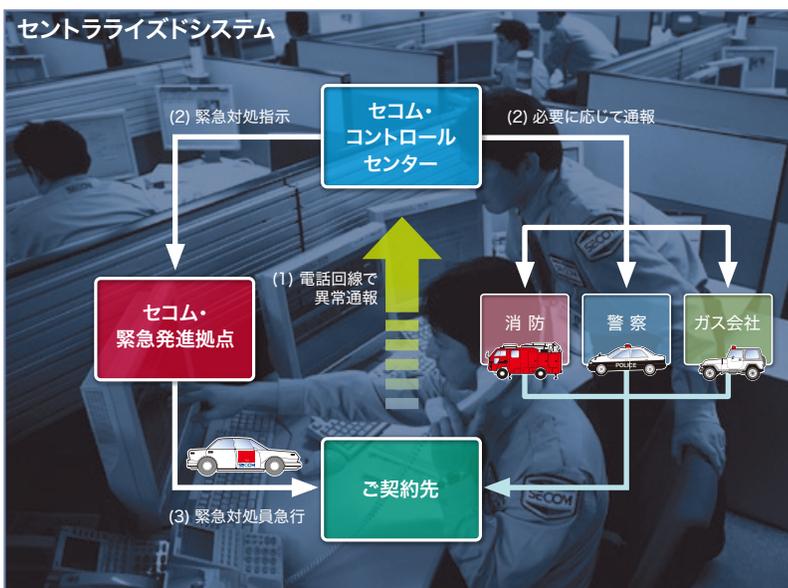
安全管理・設備自動制御システム「セコム

FX」は、無人店舗や小規模オフィス向けのオンライン・セキュリティシステムとして、防犯・火災監視とともに、さまざまな施設やオフィスの設備制御、店舗の自動開閉店などをサポートし、省エネや省力化、サービス向上に貢献します。設備のスケジュール制御や社員の入退室操作、センサーの感知情報を利用し、空調・照明・OA機器などの設備制御を行えるため、人がいない場所は自動的に電気や空調を消すことができるなど、企業の電気使用量の削減に役立ちます。その結果、電気代が安くなるだけではなく、CO₂の排出量を削減することで、環境対策にもつながります。セコムは、省エネや省力化を積極的に進めている企業のニーズに応える“環境にやさしい”オンライン・セキュリティシステムとして、「セコムFX」を提案しています。

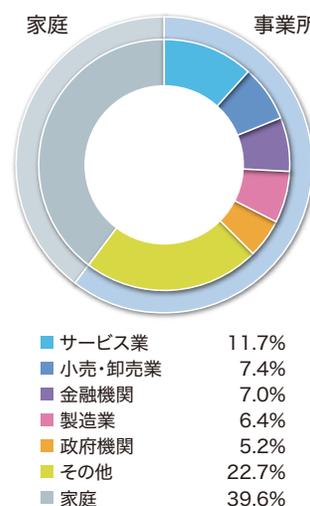
近年、ICカードに続いて、ICタグがさまざまな分野で利用され始めており、ICタグは大きな需要が見込まれています。これまでのICタグは、物の管理を目的につくられていましたが、人が使うことを目的にセコムが開発したのが、「セコム・アクティブICタグシステム」です。このシステムは、アクティブICタグをリーダーにかざすことなく、人の通過検知やスムーズな出



「セコムFX」が導入されている
コインランドリー



セントライズドシステムの契約先区分
(2009年3月31日現在)





「セコム・アクティブICタグシステム」

入りができるのでこれまでのICカード等では実現が難しかったさまざまな問題を解決します。例えば、扉のないゲートへの不正な入場を監視したり、認知症の患者に持たせることで無断で病院から出ていくのを検知するなど、現場の状況に合わせた柔軟なシステム構成が可能です。また、「セコム・アクティブICタグシステム」は、出入管理システムとの併用も可能なので、事務室はICカードで出入りし、荷物を持って出入りする倉庫などでは両手がふさがっているのにICタグで操作するといった、多様な出入管理を実現します。

より安全・安心、便利な社会の実現に貢献

日本では、コンビニエンスストアの店内にATM（現金自動預払機）が設置されているのが一般的となっており、セコムは、コンビニエンスストア内に設置されたATMのセキュリティ・障害対応・現金補填などのサービスを提供しています。

セコムが監視するATM本体には、破壊行為を検知するセンサーが取り付けられており、異常を検知するとその異常信号がコントロールセンターに送信されます。また、店員が非常通報ボタンを押した場合も、異常信号が送信され、セコムの緊急対処員が駆けつけます。

近年、日本では振り込め詐欺が大きな社会問題になっています。振り込め詐欺とは、電話などを使って相手をだまし、現金の振り込みを要求する詐欺のことで、被害者の多くが60歳以上の高齢者です。犯罪者は、ターゲットとなる人の近親者を装い、緊急事態発生などの理由をつけて、ATMで現金を振り込むように言います。だまされている人はATMコーナーに行き、携帯電話で犯人が指示する振込先口座番号などを聞きながら、ATMを操作して現金を振り込もうとします。そこで、ATMでの振り込みを中断させる目的でセコムが開発したのが、「振り込め詐欺防止システム」です。

このシステムは、お客様が携帯電話を使いながらATMの操作を行うと、振り込め詐欺の被害の可能性があるとシステムが判断して、自動音声で注意を促します。また、「セコムIX」と接続することで、ATMコーナーの画像と音声はセコムのコントロールセンターに送信され、管制員による確認やATMに設置してあるスピーカーで呼びかけることもできます。この「振り込め詐欺防止システム」を導入した銀行では、振り込め詐欺の被害を未然に防止するなど、その効果を上げています。

セコムは、社会の不安を解消し、事件や事故を未然に防止するために、今後も社会に役立つセキュリティサービスを開発・提供していきます。



E-net—コンビニエンスストア ATM



「振り込め詐欺防止システム」

家庭向けセキュリティサービス

ご家庭の安全・安心、便利で快適な暮らしのニーズに、「セコム・ホームセキュリティ」を核とした高品質なサービス・商品で応えています。



「セコム・ホームセキュリティ」

セコムの強みを活かして普及が進む

「セコム・ホームセキュリティ」

セコムは、事業所向けセキュリティサービスのノウハウを活かして、1981年に日本で初めて家庭向けのオンライン・セキュリティシステムを発売しました。現在、「セコム・ホームセキュリティ」は、戸建て住宅や二世帯住宅からマンションまで、また、若い独身者から30～40代のご家族や中高年のご家族まで、幅広い層にご利用いただき、年々普及が進んでいます。

「セコム・ホームセキュリティ」は、侵入・火災・ガス漏れ・救急などを24時間365日オンラインで監視し、異常が確認されると即座にセコムの緊急対処員が駆けつけ、必要に応じて警察や消防に通報します。「セコム・ホームセキュリティ」は、

28年間に及ぶ豊富な経験をもとにノウハウを蓄積し、システムや運用の改善を繰り返すことで、お客様の利便性や現場の対応力を向上させてきました。

例えば、お客様が外出しているときだけ不審者の侵入を監視するのではなく、お客様が在宅のときでも自宅の外回りや窓の開閉を監視状態にしたり、在室していない部屋への侵入を監視するなど、在宅時の安全にも配慮したシステムを提供しています。

また、携帯電話やインターネットを利用したサービスもオプションで付加することができ、お客様の利便性をさらに高めています。このサービスを利用すると、外出先から携帯電話でホームセキュリティの状態を確認し、ホームセキュリティの



「SECURITY あんしんガラス」

操作を忘れていた場合、ホームセキュリティの警備を開始することができます。携帯電話でエアコンなどの家電製品のオンオフ状態を確認し、止めるのを忘れていたエアコンのスイッチを切ることもできます。さらに、気象庁が発信する緊急地震速報を受信して、ホームコントローラーの音声と画面表示でお知らせします。これらの機能によって、お客様により大きな安心を提供しています。

犯罪の凶悪化・巧妙化に伴い、ご家庭のセキュリティをより強化したいというお客様のニーズに応えるために、セコムでは防犯を強化するさまざまなサービス・商品を提供しています。

住宅侵入の手口の中で多いのが窓を破壊して侵入する手段であることから、「窓のセキュリティ」としてセコムが普及に力を入れているのが、「SECURITY あんしんガラス」です。「SECURITY あんしんガラス」は、2枚の合わせガラスの間に強じんな特殊フィルムを挟んでいるため、衝撃を受けても貫通しにくい構造になっています。また、ガラスにヒビが入ると、大きな破壊音が出るので犯罪を抑制する効果があり、「セコム・ホームセキュリティ」に接続すれば、さらに安心です。そのほかにも、家庭向けのセキュリティシステムとしては、敷地内への侵入などをセコム画像センターで監視する「屋外画像監視サービス」、侵入者をセンサーで感知・点灯して威嚇する監視カメラ「センサーライトカメラ」があります。玄関からの来訪者を装う侵入者には、不審者を識別する顔検知機能を内蔵した「セキュリフェースインターホン」、指紋でドアの施解錠ができる「セサモ・ホームIDs」、暗証番号でドアの施解錠ができる「セサモ・テンキーロックII」、そして、防盜性・耐火性に優れ「セコム・ホームセキュリティ」に接続することもできるシステム金庫「ホームピタゴラス」などがあります。

「セコム・ホームセキュリティ」は、万一のときに駆けつける緊急対応員のサービスの品質も、高く評価されています。これもお客様に「セコム・ホームセキュリティ」が選ばれてきた理由であると考えています。



「センサーライトカメラ」

お客様の高い評価で需要が増加する 「セコム・ホームサービス」

セコムは、「セコム・ホームセキュリティ」の付加価値を高めるために、「セコム・ホームセキュリティ」をご契約いただいているご家庭を対象にした生活支援サービス「セコム・ホームサービス」を提供しています。サービスメニューは、セコムのスタッフが暮らしの不安を解消する「あんしんサポート」(家の見回りなど)、突発的に発生した住まいのトラブルに素早く対応する「トラブルサポート」(カギのトラブルなど)、ご家庭内の家事などのお手伝いをする「家事サポート」(部屋の清掃など)があります。

「セコム・ホームサービス」は、2005年のサービス開始以来、年々需要が増加しています。そこで、2008年秋から1年間計画的にサービスを提供する「セコム・ホームサービス・パック」を開始しました。これは、お客様のご予定やご希望に合わせて清掃などの各種サービスを組み合わせ、お客様と年間契約を結ぶものです。このサービスパックでは、年間計画を立てるため、個別にその都度予約を取る煩雑さが解消されるだけでなく、予約が集中する年末などでもスムーズにサービスを受けることができます。

今後は、サービスエリアを順次拡大し、サービス内容のさらなる充実をめざしていきます。



「セコム・ホームサービス」

その他のセキュリティサービス

通報できる・居場所が分かる・セコムが現場に急行する「ココセコム」は、着実に利用が拡大しています。

「ココセコム」の特長を活かして、さらなる普及をめざす

「セコム・ホームセキュリティ」で家庭市場を創出したセコムは、2001年、位置情報提供サービス「ココセコム」で、個人の市場にも進出しました。

「ココセコム」は、GPS(全地球測位システム)と携帯電話基地局の電波を利用して、専用端末の位置を高精度に突き止めることができます。当初は、子どもの誘拐や高齢者の徘徊、自動車やオートバイの盗難を防止するために発売されましたが、お客様から「こんなことに使えないか」という要望が次々と寄せられ、用途が拡大しています。現在では、バッグの紛失や盗難、ATMの破壊・持ち去り、会社の車両の運行管理、営業員の管理などにも利用されています。また、近年では女性の防犯対策、外出や出張の多いビジネスマンの非常通報用としての利用も増加しています。

「ココセコム」の最大の特長は、セキュリティ専用端末であることです。緊急時に専用端末の通報ボタンを押すと、ココセコムオペレーションセンターで通報信号を受信し、要請に応じて24時間365日セコムの緊急発進拠点から緊急対処員が駆けつけます。これにより、お客様は大きな安心を得ることができます。

小中学校へ持ち込みができる「ココセコム」を拡販

日本では、最近、携帯電話のメールやインターネット機能などが子どものいじめや犯罪の原因になることがあるとの認識が広がり、小中学校への携帯電話の持ち込みを規制する動きが全国的に広がっています。一方、保護者は、登下校時などで、非常事態が発生した場合、まず、子どもの居場所を知りたいと思います。この機能を持つのが、まさに「ココセコム」です。そこで、セコムは全国の小中学校に

「ココセコム」をご紹介して、その優れた機能について理解を深めていただき、拡販につなげています。

工場などで活躍する屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」

セコムは、“社会に役立つサービス・ロボット”をコンセプトに、ロボットの開発を進めています。その中で、すでに実用化されているのが、屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」で、工場や港湾などの広域施設に設定されたコースを、自動的に巡回して不審者などを監視します。

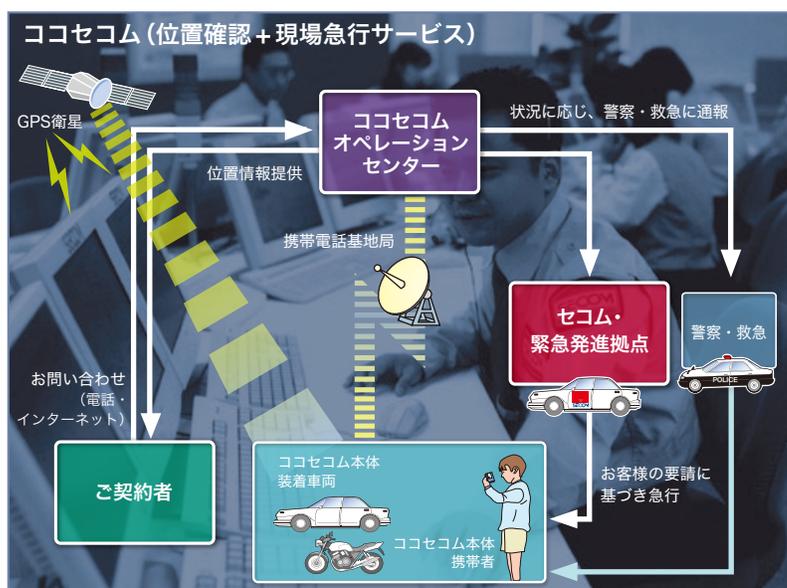
「セコムロボットX」は、広大な敷地を持つ工場やセンターなどで、立哨や巡回警備を必要とするお客様のニーズに今後も応えていきます。



「ココセコム」現場急行サービス



ココセコムオペレーションセンター



非常時の救急救命に貢献している「セコムAEDパッケージサービス」

セコムは、2004年からAED（自動体外式除細動器）が医療従事者や救急救命士だけでなく一般の市民も使えるようになったことで、「セコムAEDパッケージサービス」の販売を開始しました。AEDとは、Automated External Defibrillatorの頭文字を取ったもので、突然の心肺停止状態に陥ったときに、心臓に電気ショックを与えて、心肺の蘇生を促す医療機器です。

「セコムAEDパッケージサービス」の最大の特長は、機能の維持に必要なサービスをパッケージで提供しているところにあります。AEDは、一度使用すると、その都度バッテリーを充電し、消耗品である電極パッドを補充・交換しなければなりません。使用しなくても、交換時期が来ると、新しいものに交換する必要があります。そこで、



「セコムAEDパッケージサービス」



新幹線のデッキに設置された「セコムAEDパッケージサービス」

セコムは常にAEDを使える状態にしておくために、レンタル方式で提供することにしました。具体的には、定期的に交換が必要な電極パッドなどの消耗品を、交換時期になるとセコムがお客様に自動的に送付して、交換忘れなどを防止します。また、お客様サービスセンターに24時間体制のヘルプデスクを設けて、使用した消耗品の補充・交換の受付、機器の故障や破損、盗難に対応しています。これにより、いざというときに交換部品の不備でAEDが使用できなかったために救える命を救えなかったという事態を防ぐことができます。

発売から5年経った現在、「セコムAEDパッケージサービス」は、空港、フィットネスクラブ、ショッピングセンター、介護老人保健施設、ゴルフ場、事務所、学校、金融機関などで利用されています。最近では、新幹線に「セコムAEDパッケージサービス」が数多く導入されました。この成果は、「セコムAEDパッケージサービス」の実績が評価されたからだと考えています。

セコムの企業目標は、「社業を通じて社会に貢献すること」です。この「セコムAEDパッケージサービス」をさらに普及させることで、社会の「安全・安心」に貢献していきます。

海外でのセキュリティサービス

「セコム方式」のセキュリティサービスで、各国における社会の「安全・安心」に寄与している海外事業。

海外11の国と地域で事業を展開

セコムの海外進出は、1978年に始まり、台湾、韓国、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、英国、オーストラリア、米国で事業を展開してきました。セコムの海外でのセキュリティサービス事業の特長は、「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムをその国や地域の状況に合わせてカスタマイズして提供し、定着させたことにあります。

欧米の機械警備システムは、セキュリティ会社がセキュリティ機器を販売したり、オンラインで監視センターと結ばれているものの緊急対処は行わず、異常の発生を警察などに通報するのが一般的です。それに対して、「セコム方式」はセキュリティ機器を監視センターと結び、異常が発生するとセコムの緊急対処員を急行させ、必要に応じて警察などに通報します。

この「セコム方式」は、普及が進むにつれて評価が高まり、需要が伸びていきました。中でも、持分法適用関連会社である台湾の合併会社「中興保安」と韓国の合併会社「エスワン」は、それぞれの国のセキュリティ市場でトップシェアを誇り、証券取引所に株式を上場しています。



セコムPLC(英国)のコントロールセンター

事業拡大が顕著な中国市場、東南アジア市場は普及期へ

セコムは、1992年に中国の潜在成長力に着目して、中国市場に進出しました。現在、大連、上海、北京、青島、深圳および福建など、経済発展が著しい沿岸部の主要都市に設立した子会社でオンライン・セキュリティシステムを提供し、契約件数を順調に伸ばしています。さらに、都市周辺部にもサービス提供範囲を拡大しようとしています。

東南アジア各国では、急速な経済成長に伴って、セキュリティの需要が高まり、草創期から普及期に移っています。タイとマレーシアでは、首都だけではなく、地方の主要都市への展開を開始しています。シンガポールでは、「セコム方式」が評価されて、着実にご契約先を拡大しています。インドネシアでは、セコムのグループ会社がセキュリティのリーディングカンパニーとして、事業の拡大を図っています。外資規制のあるベトナムでは、セキュリティサービスのコンサルティングおよびソリューションの提案を行っていますが、将来はオンライン・セキュリティシステムも提供し、事業の拡大を図る構想です。

セコムは、セキュリティサービスを提供する上で最適な方法と考える日本と同じ「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスを提供することで、海外事業をさらに拡大していきます。



エスワン(韓国)の緊急対処

成長軌道に乗って一段と加速する中国事業



北京京盾セコムエレクトロニックセキュリティCo., Ltd.のコントロールセンター



北京京盾セコムエレクトロニックセキュリティCo., Ltd.の緊急対処員

セコムの中国市場での事業所向けセキュリティサービス事業は、1992年の北京市でのセコム（チャイナ）Co., Ltd.設立にさかのぼります。1993年に大連市で中国初の企業向けオンライン・セキュリティシステムの提供を始めました。それ以来、特に経済発展が著しい沿岸部の主要都市を中心にセキュリティ事業を展開し、緊急発進拠点は78カ所に広がっています。

中国は、経済成長によって豊かになる一方で、都市部での安全に対する意識が増加したことにより、質の高いセキュリティサービスへのニーズが高まっています。そのニーズに的確に応えるセコムのオンライン・セキュリティシステムが評価され、ご契約先が増加してきました。なお、上海にある上海

能美セコムファイアプロテクションエイクイPMENT Co., Ltd.が、中国国内向けに防災機器を製造・販売するとともに、セキュリティ機器を製造し、中国と日本をはじめ、東南アジア各国に供給しています。

中国でのセコムのオンライン・セキュリティシステムは、あらゆる業種に需要が広がっています。ご契約先は、中国の現地企業が多数を占め、次いで日系企業、外資系企業となっています。このことから、セコムのビジネスモデルが中国の現地企業に浸透していることが分かります。

セコムは、今後内陸部の中部地域や西部地域にも事業エリアを拡大し、最終的には中国全土で「セコム方式」のオンライン・セキュリティサービスを提供していくことをめざしています。



深圳セコムセキュリティシステムCo., Ltd.の緊急対処員

防災サービス

住宅用火災警報器、防災システムのリニューアルで好調の防災サービス事業。
消防法の一部改正で、「グループホーム スプリンクラー」の拡販にも取り組んでいます。

住宅用火災警報器の普及を推進

能美防災(株)は、オフィスビル、プラント、トンネル、文化財、船舶、住宅などのさまざまな施設に、高品質な自動火災報知設備や消火設備など各種防災システムを提供している、大手メーカーです。

同社が製造し、セコムが販売している住宅用火災警報器「ホーム火災センサー」は、販売が順調に伸びています。2006年の消防法の一部改正により、住宅用火災警報器の設置は、新築住宅に義務化され、さらに2011年までに既築住宅にも条例で順次義務づけられ、全国の住宅が義務化の対象となります。セコムは、住宅火災から大切な命を守るために、今後も「ホーム火災センサー」の普及を推進していきます。

防災システムのリニューアル事業を強化

防災業界でトップシェアを持つ能美防災(株)は、豊富な施工実績と長年にわたって培われた幅広いお客様との信頼関係を活かして、ビルなどのリニューアルに伴う防災システムの更新ニーズに積極的に対応しています。能美防災(株)は、このリニューアル事業を一層推進するために、防災ソリューション部を設置し、お客様の防災に関する問題解決のご提案を積極的に行うことで、リニューアルの受注増加を図っています。

「グループホーム スプリンクラー」へのニーズにも対応

2006年に発生した認知症高齢者グループホームの火災事故をきっかけに消防法が改正され、2009年4月から自力避難が困難な人が入所する社会福祉施設に対して、275㎡以上の防火対象物にスプリンクラー設備の設置が必要になりました。この消防法の一部改正を受けて、能美防災(株)は特定施設水道連結型スプリンクラー設備(乾式)の「グループホーム スプリンクラー」を発売しました。「グループホーム スプリンクラー」は、通常時はスプリンクラー配管に水が入っていないので、寒冷地での凍結や水漏れの心配がありません。火災時の熱で作動し、スプリンクラー配管に水が送られて散水します。また、この「グループホーム スプリンクラー」は、水道管に直結でき、設置費用も安く済みます。

能美防災(株)では家庭用の「ホームスプリンクラー」を販売していることから、そのノウハウを活かして、競争力のある特長を持つ「グループホーム スプリンクラー」を実現しました。グループホームにお住まいの方々が「安心・安全」な生活を送ることができるよう、今後も「グループホーム スプリンクラー」を普及させていきます。



スプリンクラー消火実験



低発泡消火実験

メディカルサービス

在宅医療サービスは順調に拡大し、グループの総合力を活かした新たなシニアレジデンスも運営を開始しました。



訪問看護サービスの研修風景



訪問看護サービス

堅実に拡大している在宅医療サービス

セコムが、医療の面から「安全・安心」を提供するために始めたのが、メディカルサービス事業です。現在、セコム医療システム(株)を中心に、医療、介護および健康の分野で、多彩なサービスを提供しています。

セコムの主要なメディカルサービス事業のひとつである在宅医療サービスには、自宅療養を行う患者を看護師が訪ねて、医師の指示のもとに医療的処置を行う訪問看護サービスや、院外処方箋に基づいて保険調剤を宅配する薬剤提供サービスがあります。1991年に開始した訪問看護サービスは、セコムが民間企業として最初に本格的な事業を展開したもので、セコム独自の研修で訪問看護技術を高めた訪問看護師が、質の高い看護サービスを行うことで定評があります。現在、首都圏や関西圏、名古屋、仙台など、全国35カ所にセコム訪問看護ステーションを設置し、看護師が患者やその家族と24時間連絡が取れる体制を整えています。

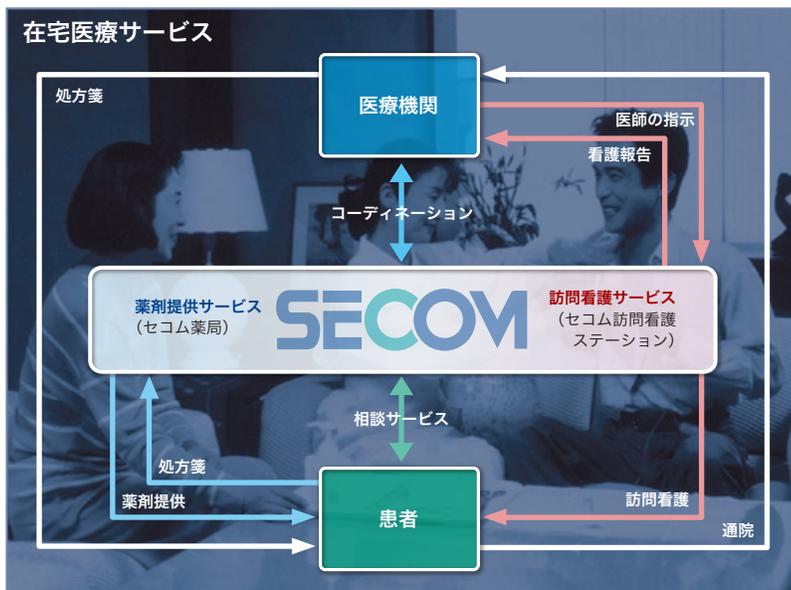
セコムならではのノウハウを結集した独自のシニアレジデンスを運営

セコムは、高齢社会に対応した特色あるシニアレジデンスを、グループ各社で運営しています。入居時に健常な方を対象にしたシニアレジデンスには、ホテル並みの環境を整えた終身利用型の「スクラビア成城」、豊かな自然に恵まれた終身利用型の「ロイヤルライフ多摩」、そして「セコムフォート」シリーズの「コンフォートガーデンあざみ野」、2009年6月に開設した「コンフォートヒルズ六甲」があります。「セコムフォート」シリーズは、セキュリティサービス事業とメディカルサービス事業で培ってきたセコムのノウハウを結集し、「コンフォートエイジング」(老いていくことを不安に感じるのではなく、自然に受け入れながら快適に暮らしていただくこと)をコンセプトに展開しています。

また、入居時から介護を必要とする方を対象にしたシニアレジデンスには、首都圏を中心に展開している「アライブケアホーム」があります。「アライブケアホーム」の特長は、40室規模の少人数入居のため、温かな雰囲気の中で、良質なサービスを提供できるところにあります。住み慣れた土地や家族の近くで生活したいという入居者の希望に応える「アライブケアホーム」は、高い評価をいただいています。

地域医療で「安全・安心」を提供しているセコムの提携病院

セコムが提携している病院は現在17カ所あり、在宅医療の患者に対する後方支援病院としての機能と、地域に根ざした医療を提供し、より理想的な地域医療システムの開発をめざしています。セコムは効率的な病院経営や医療の質の向上を実現するための側面支援を行っています。



「安心」と「快適」を追求した「コンフォートヒルズ六甲」

シニアレジデンス「コンフォートヒルズ六甲」は、「セコムフォート」シリーズのコンセプトである「コンフォート・エイジング」、すなわち「老いていくことに不安を感じるのではなく、自然に受け入れながら快適に年齢を重ねていく」という考え方のもとに展開しています。世界的な建築家の安藤忠雄氏が設計を行い、自然の彩りと融合した111室のシニアレジデンスを実現しました。

「コンフォートヒルズ六甲」には、セコムならではの大きな特徴が2つあります。第一は、隣接するセコムの提携病院である神戸海星病院と直結した、病院直結型のシニアレジデンスであるということです。神戸海星病院の医師は、「コンフォートヒルズ六甲」の居住者のホームドクターとして、高品質な医療サービスを提供することができます。また、定期健康診断、人間ドック、リハビリテーションなどのプログラムも充実しており、居住者の皆様に大きな安心感を提供しています。

第二は、一般居室に暮らしながら、介護予防をしたり、ちょっとした介護が受けられる新発想のコンフォート・エイジング・エリア「カレア」を設け、居住者の自立生活を支えていることです。人間の心身の状態は、その時々によって異なり、「自立」か「要介護」かを二者択一するのは難しいものです。居住者は加齢に伴う心と体の変化に対して常に気を配られているため、入浴や食事などの際に、「カレ



「コンフォートヒルズ六甲」

ア」でちょっとしたサポートを受けながら、一般居室で普段と変わらない生活を送ることができます。常時見守りが必要になった場合は、介護居室で専門スタッフが介護を行います。

「コンフォートヒルズ六甲」には、最新のセコムのセキュリティシステムが導入され、入居者の「安全・安心」を見守っています。また、専属シェフが作る健康に配慮した料理を堪能し、さまざまな趣味やアクティビティも用意されているなど、生活のあらゆるシーンで居住者が快適に過ごすことができる工夫が凝らされています。

セコムならではの「安全・安心」で快適な住環境を提供する「コンフォートヒルズ六甲」は、各方面から高い評価を得ています。



一般居室のダイニング

保険サービス

事後の損害を補償するセコムならではの保険商品。



セコム損害保険(株)本社ビル

契約を伸ばすユニークな損害保険

セコムが損害保険事業を始めたのは、事前の備えを提供するセキュリティサービス事業と事後の損害を補償する損害保険事業を組み合わせることで、より強固な「安全・安心」をお客様に提供できると考えたからです。現在、セコムならではのユニークな損害保険を販売し、順調に契約を伸ばしています。

「セコム安心マイホーム保険」は、ホームセキュリティを導入されているお客様の場合、火災のリスクが軽減されているので、火災保険料を割り引きます。建物の形態や補償の選択によって、火災保険料が最大約60%割引(同社比)になります。事業所向けには、オンライン・セキュリティシステムを導入されている事務所や店舗などを対象に、火災保険料を最大約30%割引く「火災保険セキュリティ割引」を提供しています。リスク軽減効果により火災保険料を割引くこれらの保険商品は、お客様に好評で、セキュリティの契約をきっかけにこれらの保険に加入されるお客様がいる一方、保険の加入をきっかけにセキュリティのご契約をいただくお客様もいるという相乗効果を生み出しています。

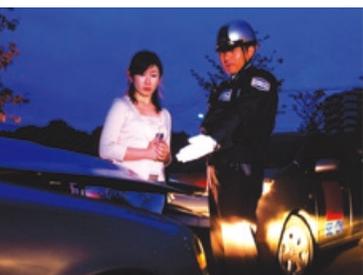
セコムならではの自動車保険が、「NEWセコム安心マイカー保険」です。この自動車保険の特徴は、万一事故にあった場合、お客様の要請で事故現場にセコムの緊急対処員が駆けつけるところにあります。それにより、お客様の不安が取り除かれ、大きな安心感を得ることができます。

通院ガン治療費の補償を強化した「自由診療保険メディコム」

「自由診療保険メディコム」は、健康保険が使える保険診療でも、健康保険適用外のため治療

費を全額自己負担しなければならない自由診療でも、ガンの入院治療費の自己負担分を全額補償するので、最高水準の治療を受けることができる画期的なガン保険として好評を得ています。これまでのお客様の声やニーズの変化に対応して、2009年4月から「自由診療保険メディコム」の補償内容をバージョンアップし、競争力を強化しました。例えば、最近のガン治療は従来の入院による治療から通院による治療が増加傾向にあることから、通院補償の日数制限を業界で初めて撤廃し、通院治療費の補償額を5年ごとの保険期間で最大1,000万円としました。また、これまでは手術または先進医療を伴う通院だけが補償対象でしたが、これをすべてのガン治療のための通院、例えば抗ガン剤などの薬をもらうための通院でも補償することにしました。このバージョンアップにより、お客様はこれまで以上に費用を気にせずに、最適なガン治療を受けることができます。

セコムの損害保険商品は、ユニークな特徴が業界から注目されています。その特徴を、お客様にご理解いただき、今後も一層の拡販に努めていきます。



「NEWセコム安心マイカー保険」の現場急行サービス



最先端の治療にも対応する「自由診療保険メディコム」

地理情報サービス

空間情報を活用し、さまざまな事業分野で積極的に活動している(株)パスコ。全世界への販売権を取得している衛星事業も、着実に展開しています。

空間情報サービスを活用した事業を展開

(株)パスコは、測量技術やGIS(地理情報システム)技術を活用して、空間情報サービスを展開しています。国や地方自治体向けには、豊富な経験とノウハウを活かし、都市計画や道路計画などの計画・設計や、地方自治体が効率的な行政サービスを実現する空間情報ソリューションを提供しています。民間企業向けには、商圈分析・店舗の統廃合などのマーケティングを支援するサービス、配送計画・移動体管理などの物流を支援するサービス、潜在需要が見込まれる事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)策定を支援する危機管理サービスなどを提供しています。

世界市場を視野に入れた衛星事業

(株)パスコは、商業用としては世界最高水準の解像度を持つドイツの人工衛星(Terra SAR-X)が撮影した画像の日本国内の独占販売権と全世界への販売権を取得しています。この衛星の特長は、昼夜や天候を問わず地球上を高精度かつ迅速に撮影できることです。その特長を活かし、災害対策の意思決定に必要な情報を提供して被害の軽減を支援したり、森林破壊などの環境モニタリングによって森林の変化を概観する支援を行ったりすることもできます。

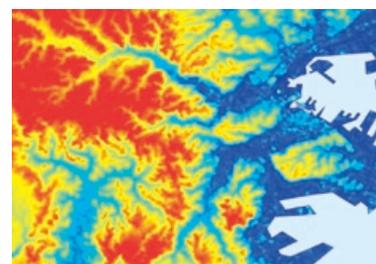
同社は、沖縄県糸満市に加えて北海道千歳市にも人工衛星受信局を設置する予定です。これにより、日本全土をカバーした受信局ネットワークを構築し、防災、環境をはじめとする多くの分野で、「安全・安心」な社会の実現に貢献することができます。

さらに、米国で合併会社を設立し、新開発の衛星画像の処理技術による高精度な三次元画像の作成にも着手しています。

空間情報ニーズが高い国際事業を拡大

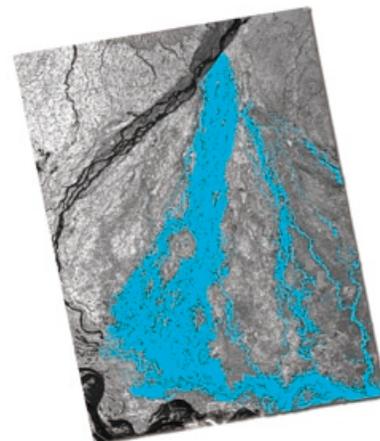
国土計画や土地利用計画作成の基本となる地図データが整備されていない国々では、国土基本図の整備・更新のほか、都市計画やインフラ整備に必要な空間情報に高いニーズがあります。(株)パスコは、長年培ったノウハウ、測量やGISの技術力およびコンサルタント能力を活用し、そのような諸外国政府の要望に応える国土空間データ基盤整備などの大型プロジェクトの受注に注力するとともに、日本政府のODA(政府開発援助)案件の受注および最先端技術を活用した商品の海外展開なども行っています。

国際事業を拡大している同社は、フィリピン、タイ、中国、インドネシア、ヨーロッパおよび米国に現地法人を設置し、受注の拡大に努めています。ブラジル・アマゾンの熱帯雨林の環境保全への取り組みをきっかけに、ブラジルと周辺諸国への空間情報ビジネスにも着手しました。衛星の撮影画像も活用して空間情報を収集・加工・処理し、日本と同じ高品質の画像を提供することによって、今後も新たな市場を開拓していきます。



2枚の Terra SAR-X 画像から作成した広域の高精度地形モデル

ネパールコシ河の堤防決壊による氾濫域の抽出(水色の領域)
©Infoterra GmbH,
Distribution [PASCO]



不動産開発・販売

セコムならではの高度なセキュリティ体制のマンションを開発・販売。



「グローリオ蘆花公園」

「安全・安心」な分譲マンション 「グローリオ」シリーズ

セコムは、「安全と快適のマンション」をコンセプトに、セコムならではの高度なセキュリティシステムを結集した「グローリオ」シリーズを開発・販売しています。また、入居後も快適な暮らしをサポート

とするサービス「グローリオ・サポート24」を提供し、24時間体制のお客様サービスセンターが窓口となっており、暮らしの困りごとだけでなく、損害保険、医療・介護など、さまざまなご相談に乗っています。

情報通信・その他のサービス

情報セキュリティと大規模災害対策を核とした総合的な情報通信サービスを提供。



セコムトラストシステムズ(株)
の災害監視センター

災害時の事業継続計画を支援する 「セコム安否確認サービス」が引き続き好調

セコムの情報通信事業は、コンピュータ・ネットワーク時代の「安全・安心」のニーズに応えた、ネットワーク上の情報を守るセキュリティを提供しています。現在、セコムトラストシステムズ(株)が、情報セキュリティと大規模災害対策を核とした、総合的な情報通信サービスを提供しています。中でも、お客様から高く評価されているのが、企業向け大規模災害対策サービス「セコム安否確認サービス」です。このサービスは、地震などの大規模災害が起きたときに、社員の安否や建物の被害状況などを把握して、事業継続や事業の早期再開を支援します。オプションとして、社員と家族同士で安否を確認できる「あんびくん」も提供しています。

「セコム安否確認サービス」の特長は、第一にセコムのセキュリティサービス事業のノウハウをベースに、セコムトラストシステムズ(株)の災害監視センターが24時間365日体制で国内の災害情報を収集し、お客様の災害対策本部の初動をサポートする人的サービスと、IT技術を組み合わせたサービスであるということです。第二に、自社でシステムを構築・運用しているため、サービスを進化させて、ご契約先の

さまざまなニーズに柔軟に対応できることです。例えば、社員の現在位置を知りたいというご要望には、「ココセコム」と連携することで、社員の位置情報の提供を実現しました。また、ラインアップを充実させ、取引先の被災状況を把握する「セコム安否確認サービスSCM(お客様の取引先向け)」、海外赴任中の社員が災害に遭ったときに安否を確認できる「セコム安否確認サービスGS(グローバル・サテライト)」も提供しています。

「セコム安否確認サービス」に 新型インフルエンザ対策の機能を追加

「セコム安否確認サービス」に、2008年から新たに標準搭載した機能が、新型インフルエンザ対策です。企業の危機管理担当者は、簡単な操作で社員やそのご家族の新型インフルエンザへの感染状況を、速やかに把握することができます。その収集した情報をもとに、全社員への指示を出すことによって、事業継続への影響を最小限に抑えます。セコムは、今後もお客様のニーズに合った「セコム安否確認サービス」のラインアップを充実させていきます。



セキュアデータセンター